

令和元年度第1回厚木市学校給食センター運営委員会会議録

会議主管課 教育総務部学校給食課
会議開催日時 令和元年7月17日(水)午後2時～午後3時30分
会議開催場所 厚木市役所第二庁舎15階 農業委員会会議室
出席者 厚木市学校給食センター運営委員会委員12人
教育長及び学校給食課職員8人
説明者 学校給食課長、学校給食課職員

委嘱状交付式

委嘱状交付

あいさつ 曾田教育長

会議経過は、以下のとおり。

1 開会 学校給食課長
委員及び事務局の紹介、資料確認
厚木市学校給食センター運営委員会について(参考資料1及び2に基づき説明)

2 会長及び副会長の選出

(1) 会長の選出

会長に高橋健一委員(相川小学校校長)を選出。

会長 あいさつ

(2) 副会長の選出

副会長に國分信雄委員(緑ヶ丘小学校PTA副会長)を選出。

3 案件

以下、高橋会長により議事進行

案件(1)から(3)まで、事務局説明の上、各案件について承認を得た。

委員からの質疑、意見及び事務局の説明は次のとおり。

(1) 令和元年度学校給食に係る実施計画について(資料1)

委員：小学校に比べて中学校はお弁当の回数が多くて大変なので、給食費を追加で払ってもいいから給食回数を増やしてほしい、という声がPTA保護者からよく挙がる。給食回数を増やすことはできないか。

事務局：平成19年度に中学校給食が開始するに当たり、給食の喫食回数について当時の校長先生方に相談した。その際に、中学生は小学生と異なり、昼食を食べてすぐ移動をするという機会が多いため、小学校より喫食回数が少なくなった経過がある。給食費も関係があるので、今後の参考とさせていただきたい。

委員：来年度以降、小学校は授業時数の関係で夏休みが短縮になり、給食を増やすことも検討しているような話も聞いている。中学校も同様に増やせないか。あくまで意見です。

委員：親の作ったお弁当を食べるということも食育の一つだと考える。しかし、一食単価でみると、お弁当一食より給食の方が安価なので、家庭の負担の面から考えると給食回数が増えるのはありがたい。また、先程の説明

で郷土料理を給食に取り入れているという話があったが、厚木市のものだけでなく、友好都市やその他の地域の郷土料理も給食に取り入れることで、厚木市との違いや良さを再認識する機会となってよいのではないか。

事務局：友好都市の料理については、本日も沖縄の郷土料理を取り入れており、すでに給食の献立に取り入れている。

事務局：(友好都市の料理及び厚木の郷土料理について補足説明)

(2) 学校給食用物資納入登録業者について(資料2)

(3) 学校給食費の現況について(資料3)

委員：給食費の徴収が公会計化したことにより、学校現場では教職員の負担が減り、大変助かっている。しかし、かなりの収入未済額があることに驚いた。給食費を払わないからといって、子どもたちに給食を食べさせないという訳にはいかない。払わない方には児童手当から差し引いてもいいのではないか。

事務局：就学援助制度があるので、一定の所得以下の方については、減免という形をとっている。ここに挙がっている数値については、それ以外の方です。

委員：10月に消費税が上がるという話だが、厚木市では来年度以降、給食費を上げる予定はあるか。

事務局：給食に使用する食材については、基本的には減税対象となるが、その食材を梱包する材料や輸送にかかる費用については、10%の消費税がかかってしまう。給食費の値上げについては、その必要性について、来年度以降検討していく。

4 その他

(1) (仮称)厚木市学校給食センター整備運営事業について

(2) その他

5 閉会 國分副会長